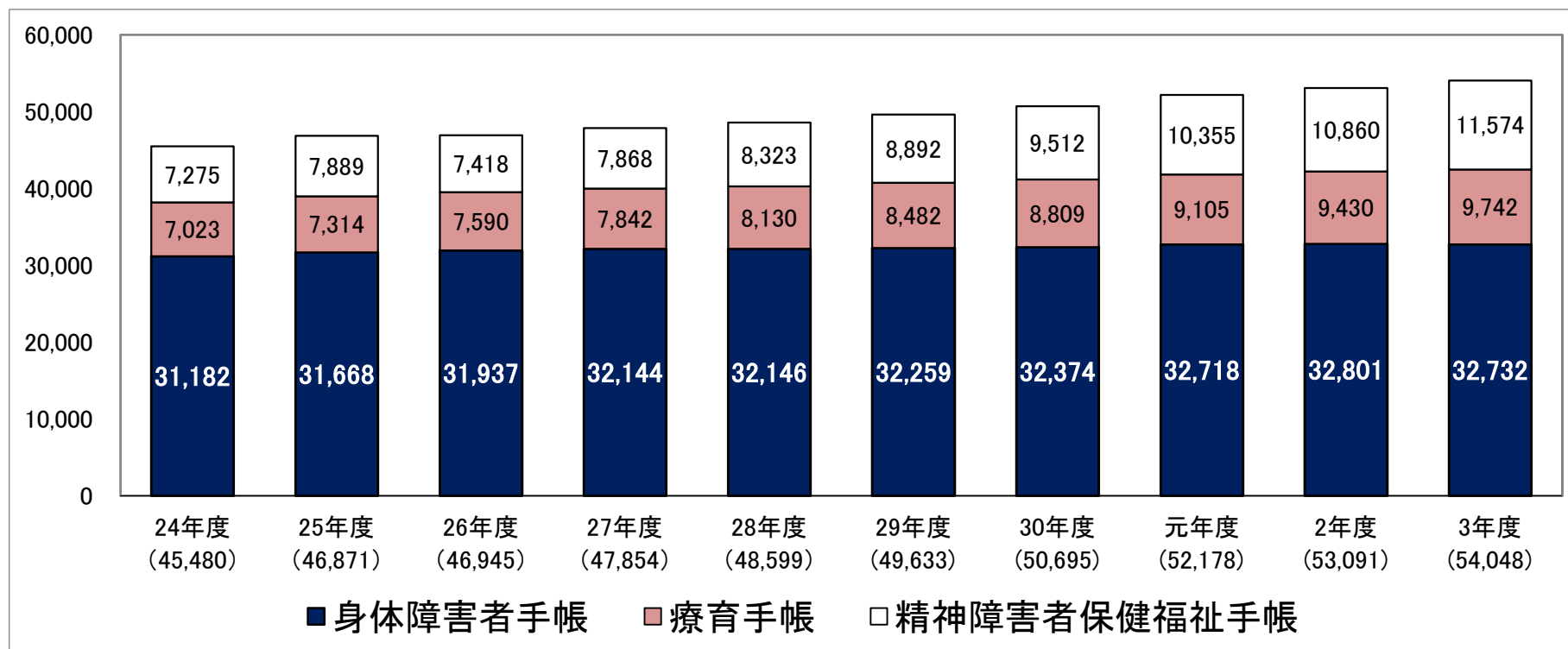


仙台市における 障害関係統計値の推移について

1 障害者手帳所持者数の推移

令和3年度末時点の総数は54,048人であり、人口比率では4.9%となっている。

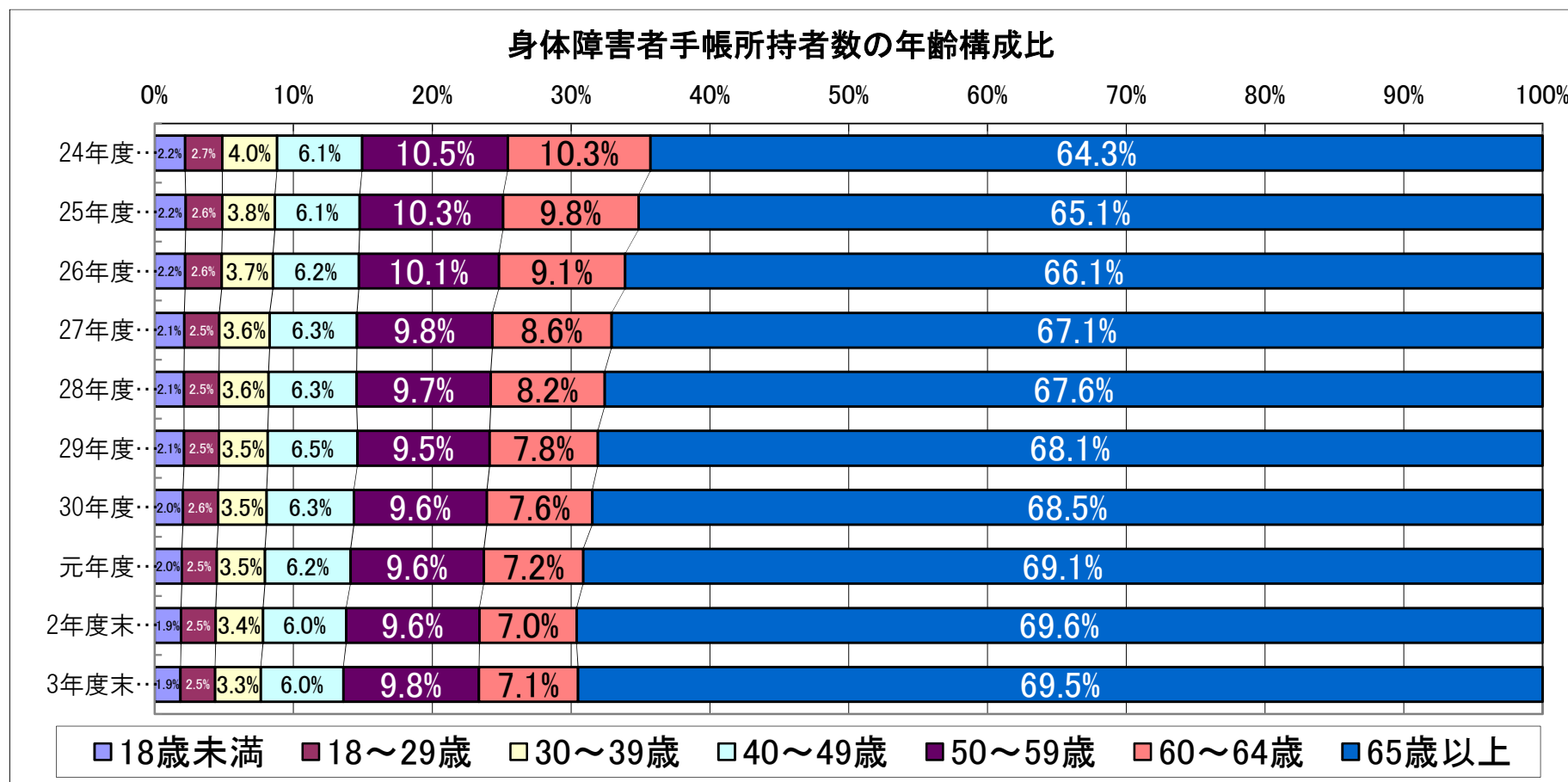
単位：人



※複数の手帳を所持している場合は、それぞれに計上している。

2 身体障害者手帳所持者数の年齢構成比

年齢構成比に大きな変化はなく、65歳以上の所持者比率は、令和3年度末時点で69.5%となっている。



3 身体障害者手帳所持者数の年齢別推移

身体障害者手帳の所持者数について、一部年代において増加が見られるものの、令和3年度は減少に転じた。

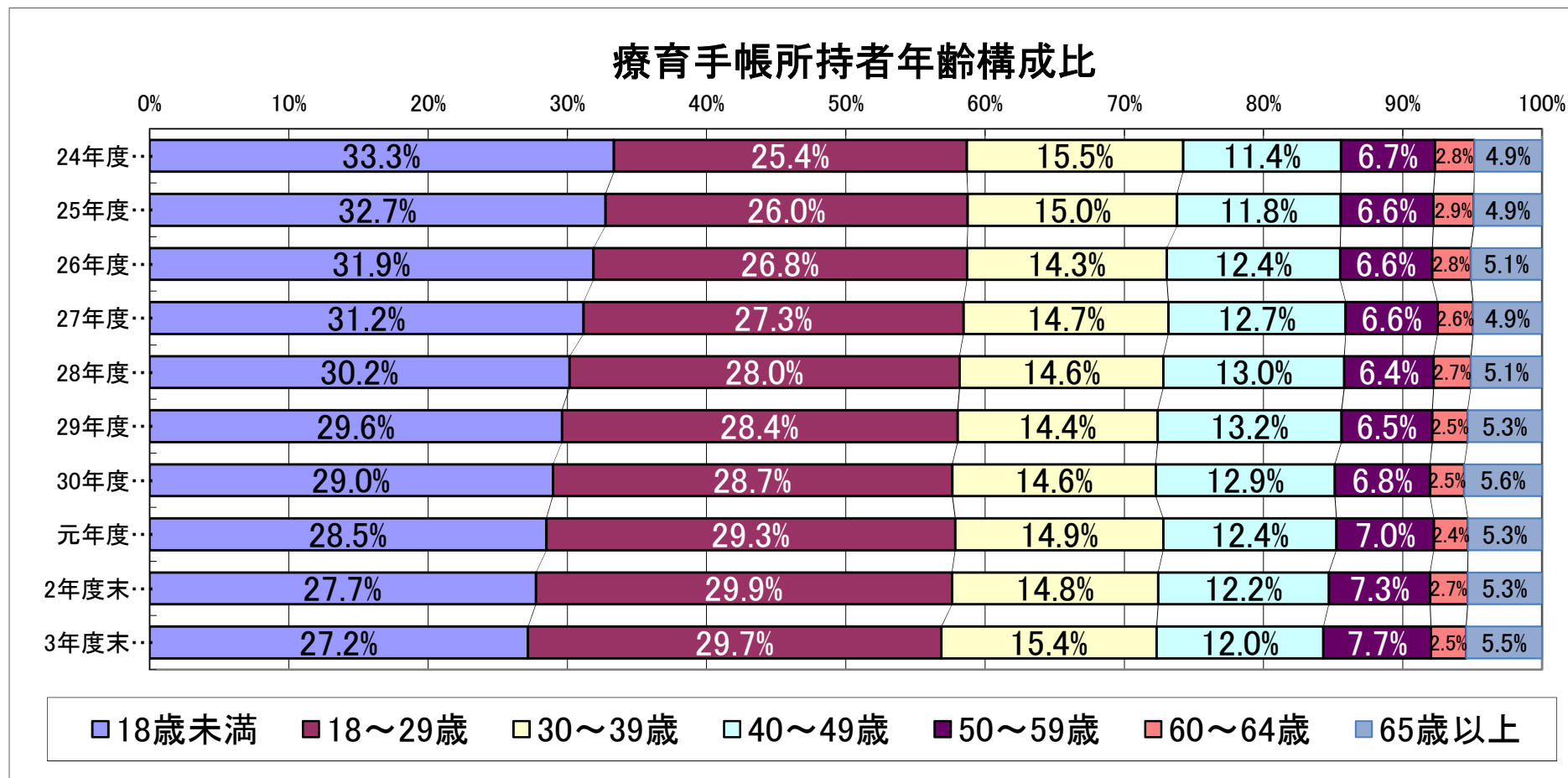
単位：人、%

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R3-R2
18歳未満	686	708	703	684	681	684	656	640	624	611	▲ 13
18～29歳	832	836	839	811	806	811	826	825	820	815	▲ 5
30～39歳	1,233	1,202	1,185	1,170	1,152	1,135	1,127	1,138	1,115	1,075	▲ 40
40～49歳	1,910	1,932	1,974	2,018	2,041	2,086	2,038	2,014	1,968	1,948	▲ 20
50～59歳	3,276	3,277	3,208	3,139	3,107	3,078	3,101	3,142	3,149	3,199	50
60～64歳	3,209	3,090	2,906	2,762	2,639	2,493	2,463	2,345	2,296	2,336	40
65歳以上	20,049	20,640	21,129	21,560	21,720	21,972	22,163	22,614	22,829	22,748	▲ 81
合計	31,195	31,685	31,944	32,144	32,146	32,259	32,374	32,718	32,801	32,732	▲ 69
前年比	1.7%	1.6%	0.8%	0.6%	0.0%	0.4%	0.4%	1.1%	1.0%	▲0.2	

※ 本表の各年度の障害者手帳の所持者数は、「1. 障害者手帳所持者数の推移」の数値とやや乖離がある。これは、障害者手帳の所持者数は障害者基本システムで人数を抽出しているが、転入・転出の影響により、抽出する時点で人数が異なるためである。例えば、3月末に集計した場合と、同年9月に前年度度分を集計した場合とでは、数値に乖離が出る。

4 療育手帳所持者数の年齢構成比

18歳未満が占める割合は減少傾向にある。30～39歳が占める割合は増加した。



5 療育手帳所持者数の年齢別推移

60～64歳以外の年代で所持者数が増加している。増加人数は30～39歳が最も多いが、18歳～29歳が全体に占める割合が依然として最も多い。

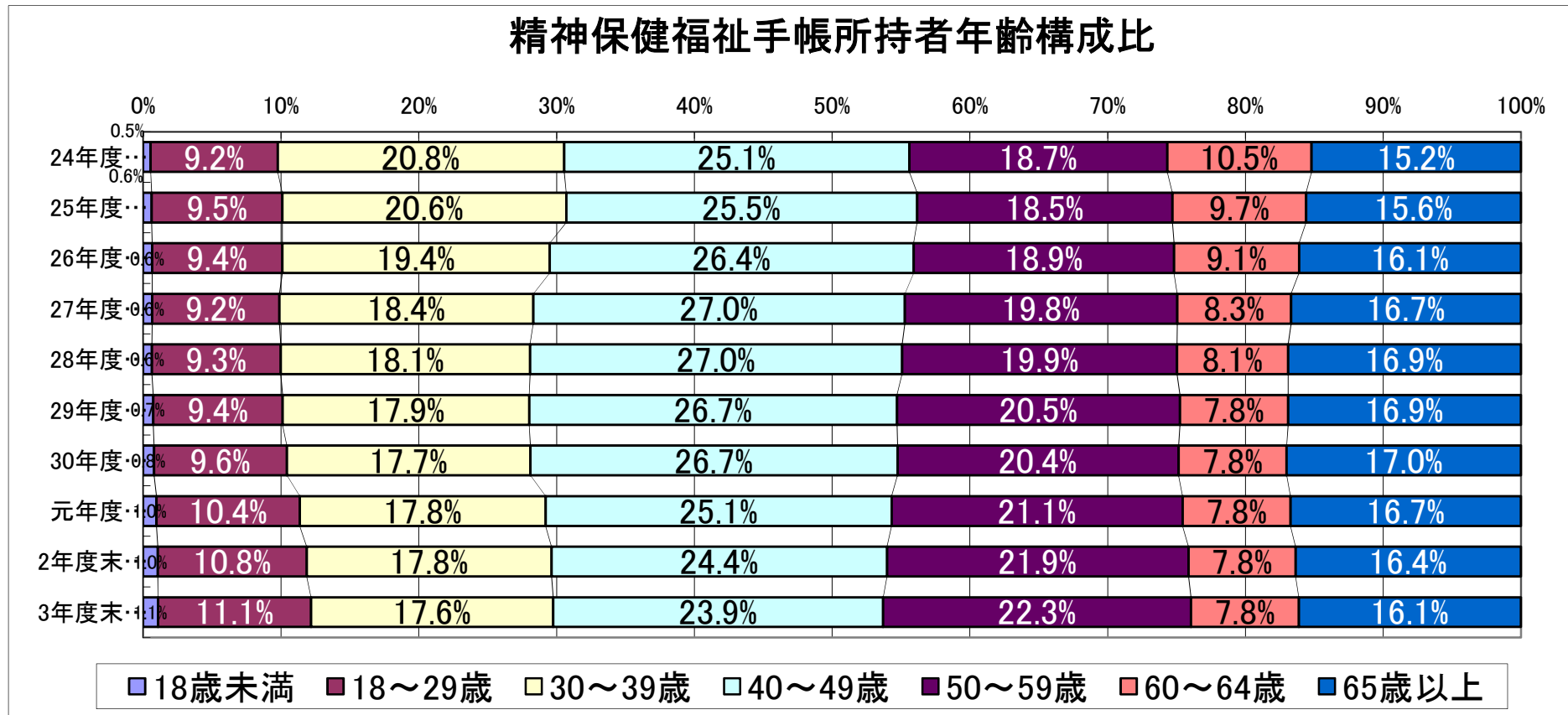
単位：
人、%

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R3-R2
18歳未満	2,341	2,395	2,421	2,444	2,452	2,513	2,552	2,596	2,616	2,648	32
18～29歳	1,780	1,902	2,037	2,141	2,278	2,409	2,527	2,672	2,819	2,892	73
30～39歳	1,090	1,100	1,089	1,153	1,189	1,218	1,286	1,361	1,396	1,505	109
40～49歳	797	860	945	998	1,056	1,121	1,133	1,132	1,155	1,167	12
50～59歳	473	486	502	518	522	552	603	637	687	753	66
60～64歳	199	213	211	200	218	216	216	223	253	246	▲ 7
65歳以上	341	358	388	388	415	453	492	484	504	531	27
合計	7,021	7,314	7,593	7,842	8,130	8,482	8,809	9,105	9,430	9,742	312
前年比	5.1%	4.2%	3.8%	3.3%	3.7%	4.3%	3.9%	3.4%	3.6%	3.3%	

※ 本表の各年度の障害者手帳の所持者数は、「1. 障害者手帳所持者数の推移」の数値とやや乖離がある。これは、障害者手帳の所持者数は障害者基本システムで人数を抽出しているが、転入・転出の影響により、抽出する時点で人数が異なるためである。例えば、3月末に集計した場合と、同年9月に前年度度分を集計した場合とでは、数値に乖離が出る。

6 精神保健福祉手帳所持者数の年齢構成比

18～29歳および50～59歳の占める割合が増加傾向にある。40～49歳の占める割合は依然として最も大きいものの、近年は減少に転じている。



7 精神保健福祉手帳所持者数の年齢別推移

すべての年代で所持者数が増加しており、50～59歳は増加人数が最も多くなっている。

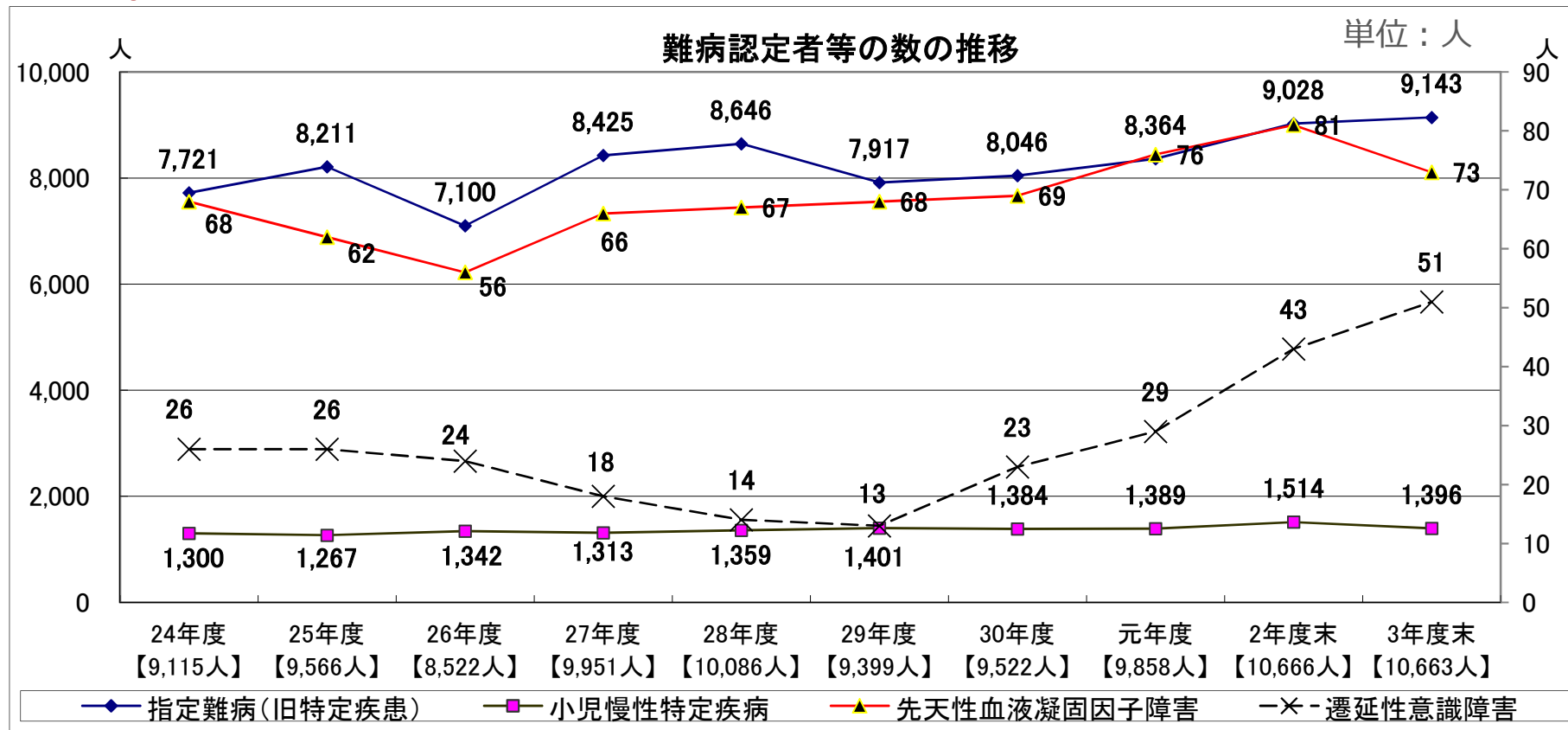
単位：
人、%

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R3-R2
18歳未満	35	43	48	51	52	64	75	100	114	124	10
18～29歳	602	668	701	726	778	835	916	1,077	1,176	1,285	109
30～39歳	1,358	1,450	1,440	1,451	1,507	1,592	1,681	1,848	1,929	2,036	107
40～49歳	1,636	1,793	1,961	2,122	2,248	2,375	2,536	2,601	2,645	2,771	126
50～59歳	1,222	1,305	1,403	1,555	1,660	1,825	1,940	2,187	2,375	2,586	211
60～64歳	684	683	673	651	671	698	746	811	845	906	61
65歳以上	992	1,097	1,195	1,312	1,407	1,503	1,618	1,731	1,776	1,866	90
合計	6,529	7,039	7,421	7,868	8,323	8,892	9,512	10,355	10,860	11,574	714
前年比	9.7%	7.8%	5.4%	6.0%	5.8%	6.8%	7.0%	8.9%	4.9%	6.6%	

※ 本表の各年度の障害者手帳の所持者数は、「1. 障害者手帳所持者数の推移」の数値と乖離がある。精神保健福祉手帳所持者数について、平成26年度以前は、障害者基本システムで抽出した人数に加えて、更新期限が切れているが実質的に遡及更新されると考えられる人数や、新規申請のうち一時的に保留された人数なども加えて人数を計上していた。本表は障害者基本システムから抽出した人数。

8 難病認定者等の数の推移

認定者数等について指定難病および遷延性意識障害では増加し、小児慢性特定疾病および先天性血液凝固因子障害では減少した。



※ 特定疾患認定者数は、平成25年度までは疾患ごとの認定件数。平成26年度以降は認定者の実人数。
 ※ 難病法施行による既認定者への経過措置は平成29年で終了。

9 障害福祉サービス利用者数（人/月）の推移

令和3年度の利用者数は11,969人。前年比で535人増、4.7%の増加率となっており、増加傾向が続いている。

単位：人

